

平成26年2月25日

展示館便り(創刊号)

二十四節気の雨水を迎え、福寿草や、早咲きの桜の開花に春の息吹を感じるこの頃です。会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のことと、お慶び申し上げます。

さて、平成25年9月5日に執り行われました、砂防の父赤木正雄展示館の開館式におきましては、スタッフとしてご来賓や招待者の受付、案内、駐車場の整理、式典の進行、そうして懇談会場の設営に至るまで、何から何まで大変お世話になり、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

早いもので、開館してから6箇月が過ぎようとしております。本日ここに「砂防の父赤木正雄展示館」の現状等について報告をさせて頂きたく、ペンを取りました。

一読頂ければ幸いです。

一般社団法人 砂防の父赤木正雄展示館
代表理事 赤木新太郎

見学者について

平成25年9月5日(木)に開館してから、6箇月経過致しました、この間見学者の推移を見ますと、正月明けの1月は少なかったですが、少ない月で20名程度、多い月で100名を超しております。特に11月は団体が3組あり110名の見学者となりました。

9月5日の開館以来235名の方がお越しになりました。

また、来館者は、東は千葉県、西は鳥取県、南は奈良県からお見えになっております。

意外なことに、インターネットで偶然発見したとのことで、平成25年11月22日に赤木正雄博士の奥様さまのご実家の親族一同8名がお見えになりました。この他11月は団体の見学者が多く、中筋小学校4年生20名、みてやま学園8名、但馬学研究会19名、沖加陽村づくり委員会32名の見学がありました。

	平成25年度
	人
9月	50
10月	30
11月	110
12月	22
1月	5
2月	18
3月	
年度計	235

また、平成25年12月6日には、戦前に全国治水砂防協会の会長を務められました、河井弥八さんの静岡県掛川市の生家跡にある河井弥八記念館の関係者8名が、マイクロバスを飛ばしてお見えになりました。

国交省OBの方や、県職OBの方の見学も比較的多いです。

記念撮影はよく入って下さいと頼まれます。この時には天然木銘板の看板をバックに、家内と入るようにしております。後で写真を送って下さることがあり、うれしいものです。

パンフレットについて

パンフレットは当初自宅のプリンターで印刷しておりましたが、インク代がかさみ、また手間も掛かるので、経済比較した後、北星社に発注致しました。PR 等して頂ける方はご連絡願います。

展示館の祝詞

神事式の祝詞が良かったので、女代神社の宮司さんに、原稿をコピーさせて下さいと頼んだところ、ありがたいことに、再度書き直した祝詞を頂戴しました。展示館のガラスのショーケースの中に保管してあります。展示館へお越しの折には是非ごらん頂きたく存じます。

お礼と感謝の集い

平成26年1月27日に郵便箱に一通の招待状が入っておりました。中身は2月19日に行われる、学校支援ボランティアの皆様を対象とした、「お礼と感謝の集い」に、(一社)砂防の父赤木正雄展示館を団体として招待すると云うものでした。当日代表で行って参りました。小学校長からは「地域教育の拠点として活用させて頂く」とのお言葉を頂きました事を、会員の皆様にご披露申しあげます。さて、小学生は喜んで受け入れるのですが、4年生を対象に砂防の重要性等をどのように説明すれば理解してもらえるのか、パネルでは分かりにくいかも知れないので、砂防堰堤の模型を作り、在る場合・無い場合をうまく説明できないだろうかなど、手探り状態が続いています。

最後になりましたが、展示館開館式の写真と、治水と砂防10月号の記事のPDF版を添付ファイルで送ります。お役に立てば幸いです。

開館式典後の和やかな懇談の写真

